



備後の国から出雲の国へ

中国横断自動車道尾道松江線の発掘調査

(2002~2014)



公益財団法人広島県教育事業団 埋蔵文化財調査室

前 口 上

公益財団法人広島県教育事業団埋蔵文化財調査室では、前身の財団法人広島県埋蔵文化財調査センター当時の2002年(平成14)から、中国横断自動車道尾道松江線建設事業に係る遺跡の発掘調査を開始し、翌年の2003年(平成15)から当事業を受け継ぎました。

そして2015年(平成27)3月の全線開通に合わせて、総計44冊の発掘調査報告書を刊行してこの事業は完了します。この間13年間にわたって75箇所、102遺跡、総面積121,192m²の遺跡の発掘調査と発掘成果の報告書作成を行いました。

一方島根県でも、1996年(平成8)から2011年(平成23)にかけて56箇所の遺跡が発掘調査されています。広島県と島根県では、この事業の完了にあわせて、関係5者の共催で発掘成果の展覧会を企画しました。発掘された埋蔵文化財は、私たちの祖先の歩みをありのままに伝える大切な歴史遺産です。埋蔵文化財がささやく歴史の真実に耳を傾けていただければ幸いです。

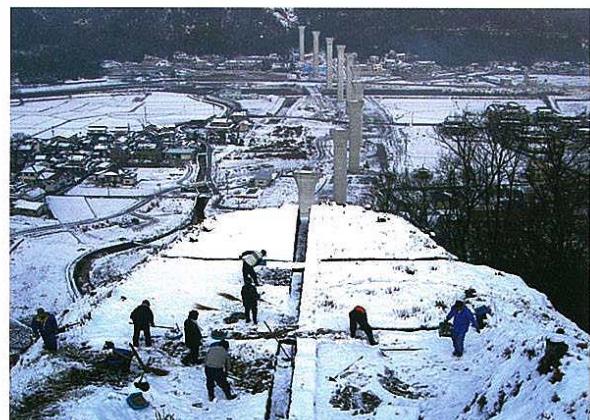
発掘!! はっくつ!!

中国横断自動車道尾道松江線建設事業に係る遺跡の発掘調査は、2002年(平成14)10月の曾川1号遺跡(御調郡御調町・現尾道市)からはじまりました。

その後、道路事業の国の事業仕訳や直轄事業化、有料道路から無料化などの曲折を経て、暫定2車線の道路事業が本格化し、遺跡の調査がピークになったのが2006~2009年(平成18~21)でした。この4年間に52箇所、面積94,586m²と全体の約70%が集中しています。酷暑の夏、雪の降る冬場も地元の発掘作業の皆さんと調査室の職員や協力していただいた企業の方々と苦楽を共にしました。

現地の発掘調査は、道路の法面から工事中に突如現れた岡東第1号横穴墓(庄原市高野町)の調査を最後に2012年(平成24)に完了しました。

こうして完成した備後と出雲を結ぶ新しい幹線道路・尾道松江線の路線内には、数千年を超える数多くの先人たちの営みの跡があったことが明らかになりました。



雪のなかの牛の皮城跡の発掘調査

発掘! はっくつ! ♪五・七・五♪ …発掘人の苦楽一句

♪♪ 遺跡掘りきょうはどこまでいったやら♪♪ m (・e・。) m



遺跡に沈む夕日

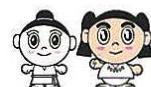
始祖王の怒れる如き雷鳴ぞ(がんぶり)
横穴墓入口通らずダイエツト(黄熊)
雨降りて撤収急ぎ泥まみれ(老松)
急傾斜曾川のうえは牛の皮(夜祭)
陽のある遺跡の暑さや三隅山(巴郷)
石仏の頬に竹林の風やさし(かんざし)
掘り掘りて知らぬ間に年が過ぎ(老松)
雪搔きに明け暮れ終えり札場古墳(雪山)
石ころも全て取上げ2千点(5層)
掘り掘りて知らぬ間に年が過ぎ(老松)
石仏の頬に竹林の風やさし(かんざし)
陽のある遺跡の暑さや三隅山(巴郷)
海田原古墳の主も霧の中(5層)
急傾斜曾川のうえは牛の皮(夜祭)
雨降りて撤収急ぎ泥まみれ(老松)
横穴墓入口通らずダイエツト(黄熊)
始祖王の怒れる如き雷鳴ぞ(がんぶり)

掘り終えた住居の壁に旧石器(5層)
工事急ぐ開通前に横穴墓(碧山)
尾松線法面見れば横穴群(黄熊)
写真撮り雲待つ間に日が暮れる(5層)
先生と呼んでよばれて遺跡掘る(襄吉)
発掘の苦楽と共に十二年(5層)

古代の吉備と出雲をつなないだ 現代の尾道松江線



～昔と今と～



中国横断自動車道尾道松江線は、尾道市を起点として中国地方を横断して松江市を終点とする総延長約137kmの高速道路です。道路は中国山地の中央部で中国縦貫自動車道と交差し、瀬戸内ではしまなみ海道とつながり、山陰～山陽～四国を結ぶ新しい流れが生まれると大いに期待されています。

中国地方を横断する南北交流の歴史を考えてみると、東西に細長い中国地方は、古くから大陸につながる北九州と日本の中枢・近畿を結ぶ東西の重要な交通路の役割をはたす一方、山地で南北に分断される南北交流の実態は、東西交流に比べるとそれほど明らかになっていません。

『古事記』や『日本書紀』には出雲の神話が数多く採録され、日本の古代国家の形成過程において、出雲は文化的に大きな役割を果たしていたことがわかっています。

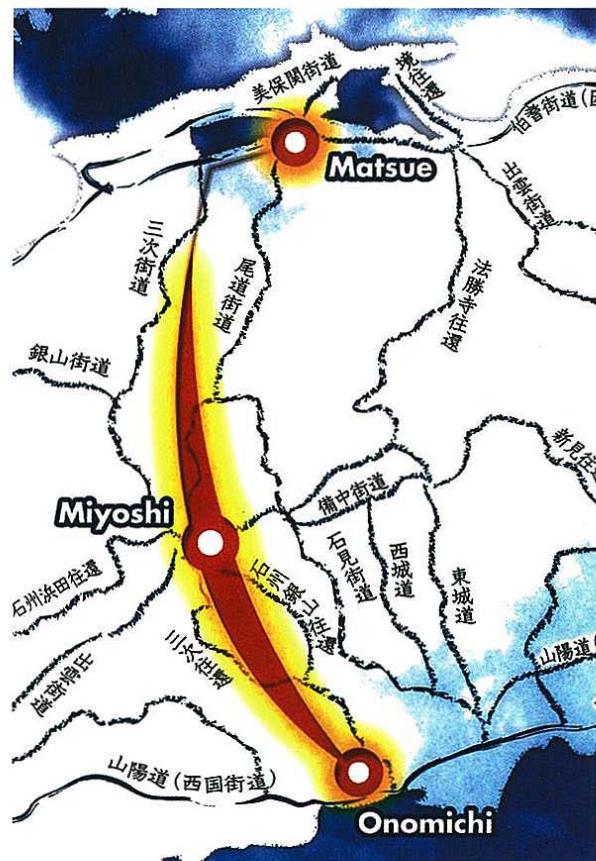
一方、吉備も『日本書紀』に数多く登場し、大和に対して反乱を起こしたことなど、大和に対抗できる大きな政治力をもっていたようです。

古代の記録からは、出雲や吉備が文化力や軍事力で大和に脅威を与える強大な国々と認識され、大和は出雲と吉備が連合することを極度に恐れたといわれ、こうした背景もあって、大和は様々な策を講じて出雲と吉備の連絡や連携を遮断したため、古代の中国地方の南北交流は大きく発展することはませんでした。

古代以来の政治的背景もあって、これまで出雲と吉備は直接につながることはませんでしたが、中国横断自動車道尾道松江線は、この両者が史上初めて一本の直通道路で結ばれる画期的な出来事となりました。

この道路によって出雲と吉備、山陰と山陽の距離は大きく短縮され、相互の観光などを通じて「人の交流」が促進され、「地域間の連携」によって、地域の活性化が期待されています。道路が、単に物資輸送の経済効果を生み出すだけでなく、「ひと」「もの」「こころ」をつなぐ新らたな交流が促進されることを願っています。

この発掘調査を進めるにあたって、さまざまご協力をいただいた地元住民の皆様はじめ沿線の庄原市・三次市・世羅町・尾道市の各教育委員会、広島県教育委員会、国土交通省中国整備局及び三次・福山の河川国道事務所、日本道路公団中国支社、(株)西日本高速道路中国支社、並びに発掘調査のご指導をいただいた学識経験者の皆様に心から感謝申しあげます。



吉備と出雲を結ぶ尾道松江線





掘り出しモノ!!…あれこれ



尾道松江線の発掘調査では、数万点に及ぶ出土品がありました。このなかから特に注目される掘り出しモノを紹介しましょう。

①只野原3号遺跡(庄原市高野町)

黒曜石製ナイフ形石器(後期旧石器時代)

長さ4cmほどの小型のナイフ形石器。石材は島根県隱岐島産の黒曜石。

②只野原3号遺跡(庄原市高野町)

流紋岩製尖頭器(縄文時代草創期)

長さ14cmの優美な槍先形尖頭器。木柄に装着しらしい痕跡が残る。

③曾川1号遺跡(尾道市御調町)A~D地区

有孔砥石(弥生時代後期)

長さ10cmほどの凝灰岩製の提げ砥石。9面の研ぎ面は鉄刃物用とみられる。

④曾川1号遺跡(尾道市御調町)L・M地区

山陰系土器群(弥生時代後期)

土坑に一括廃棄された土器群で、壺・甕を中心に山陰地方特有の形を有する。

⑤三重1号遺跡(三次市四拾貫町)

多様な出土品(古墳時代後期)

古墳群に近接する集落出土品。須恵器・土師器・鉄製紡錘車・鉄鎌・砥石・有孔石製品など多様な出土品がある。なかでも製塩土器などが注目される。

⑥下矢井南第4号古墳(三次市吉舎町)

筒形石製品(古墳時代中期)

高さ6cmの緑色凝灰岩製の杖の先端のような形をした石製品。近畿地方以外での出土は珍しく、中国四国九州地方では唯一の例。

倭政権との関わりが

深く、古墳からは大型の鉄斧や漆塗の豊櫛など三次盆地では有数の副葬品が見つかった。



①只野原3号遺跡 黒曜石製ナイフ形石器(後期旧石器時代)



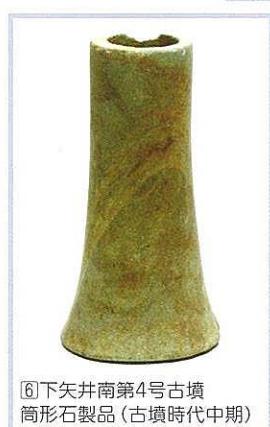
③曾川1号遺跡
有孔砥石(弥生時代後期)



②只野原3号遺跡
流紋岩製尖頭器(縄文時代草創期)



④曾川1号遺跡
山陰系土器群(弥生時代後期)



⑥下矢井南第4号古墳
筒形石製品(古墳時代中期)



⑤三重1号遺跡
須恵器と鉄器・土鍤・製塩土器・石製品・砥石など(古墳時代中期)

⑦曲第2号古墳(庄原市口和町)

横矧板三角板併用鉢留短甲(古墳時代中期)

山間に位置する直径13mの小円墳に副葬されていた鉄製短甲。前胴に横矧板、後胴に三角板を使う併用式の珍しい短甲。

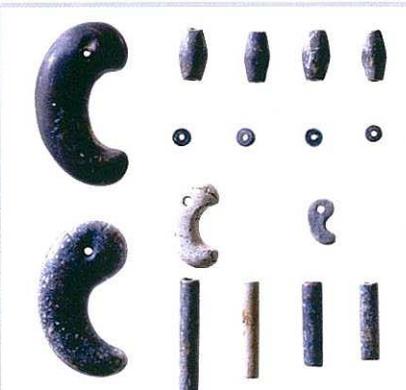


⑦曲第2号古墳 三角板横矧板併用鉢留短甲(古墳時代中期)

⑧權現古墳群(三次市向江田町)

玉類(古墳時代中期)

勾玉・管玉・橐玉・臼玉などから構成される装身具類。石材はほとんど凝灰岩系の石材。

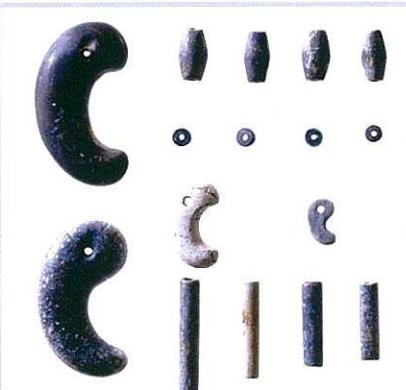


⑧權現古墳群 玉類(古墳時代中期)

⑨長畠山北第4号古墳(三次市吉舎町)

鉄鐸(古墳時代後期)

薄い鉄板を巻いて整形した高さ3.6cmほどの小型の鉄鐸。県内では数例しかない珍しい鉄製品。

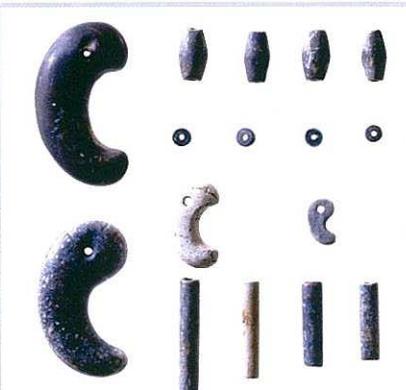


⑨長畠山北第4号古墳 鉄鐸(古墳時代後期)

⑩札場古墳(三次市後山町)

鉄鋸(古墳時代後期)

鉄板に鋸歯をつけたもので、アサリ(歯振り)があり、木工用とみられる。県内に3例しか知られていない。

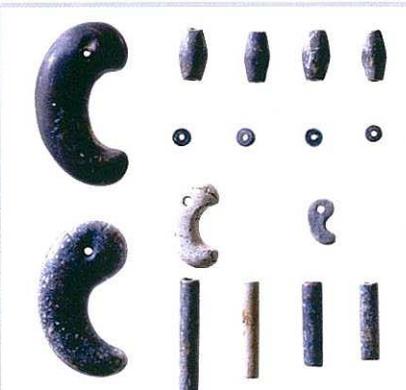


⑩札場古墳 鉄鋸(古墳時代後期)

⑪家ノ城跡(尾道市木ノ庄村)

青白磁梅瓶(南北朝時代)・破片

中国製の輸入陶磁器。外面に渦巻文を装飾する優品。

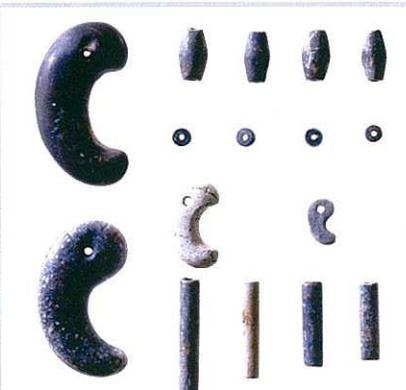


⑪家ノ城跡 青白磁梅瓶(南北朝時代)・破片

⑫頼藤城跡(三次市甲奴町)

青磁碗(室町時代)

外面に蓮弁文のある中国龍泉窯系の青磁碗。中世山城などから比較的多く出土する

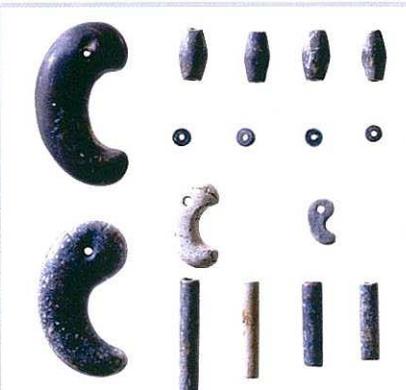


⑫頼藤城跡 青磁碗(室町時代)

⑬大柳遺跡(世羅郡世羅町)

備前焼片口小壺(室町時代)

備前焼特有の色と形をもつ片口のつく小壺。小型であるが丁寧につくられている。



⑬大柳遺跡 備前焼片口小壺(室町時代)

⑭三隅山遺跡(三次市三良坂町)

鉄鎌(江戸時代)

矢柄に装着される茎のながい長頸鎌で、形態的に江戸時代に使用された儀式用の鎌とみられる。



⑭三隅山遺跡 鉄鎌(江戸時代)



⑫頼藤城跡
青磁碗(室町時代)



⑬大柳遺跡
備前焼片口小壺(室町時代)



⑭三隅山遺跡
鉄鎌(江戸時代)

「はっくつ」から報告書へ－調査の歩み－

凡例 発掘調査 発掘調査実施 整理・報告書作成作業 報告書刊行

※数字は報告書シリーズNo

年度	発掘調査した遺跡の名前	発掘調査 ⇒ 整理・報告書作成作業 ⇒ 報告書刊行への流れ													
		14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	
14	曾川1号遺跡A地区	発掘調査		●2											
	曾川2号遺跡		●1												
	牛の皮城跡(第1次)	発掘調査	●1												
	城根遺跡	発掘調査				●4									
15	曾川1号遺跡B・C・D・E地区		発掘調査			●2・4									
	牛の皮城跡(第2・3次)	発掘調査			●1										
	家・城跡(第1次)	発掘調査									●17				
16	家・城跡(第2次)		発掘調査								●17				
	曾川1号遺跡G・H・I・J地区		発掘調査		●5										
	池ノ奥古墳	発掘調査	●3												
	家・城跡(第3次)			発掘調査							●17				
17	曾川1号遺跡K地区			発掘調査	●6										
	牛の皮城跡(第4次)			発掘調査	●4										
	権現第1～3号古墳	発掘調査				●10									
	札場古墳			発掘調査	●7										
	家・城跡(第4次)				発掘調査						●17				
	北野山遺跡				発掘調査	●8									
18	大番奥池第1～4号古墳				発掘調査	●11									
	箱山第3～5号古墳				発掘調査							●33			
	向江田中山遺跡				発掘調査	●9									
	和知白鳥遺跡(第1次)				発掘調査						●19				
	段遺跡(第1次)				発掘調査						●20				
	家・城跡(第5次)				発掘調査						●17				
	宮の本第20～26・31・32号古墳				発掘調査							●29			
	片野中山第9～12号古墳				発掘調査						●18				
	右谷遺跡				発掘調査						●18				
	若見迫遺跡				発掘調査							●35			
19	瀬戸越南古墳				発掘調査						●13				
	上陣遺跡				発掘調査						●14				
	大平遺跡・後山大平古墳				発掘調査	●7									
	和知白鳥遺跡(第2次)				発掘調査						●15				
	段遺跡(第2次)				発掘調査						●20				
	下矢井南第3～5号古墳				発掘調査							●34			
	曲第2～5号古墳				発掘調査						●16				
	稻干場第2～4・9号古墳				発掘調査						●22				
	賴藤城跡				発掘調査							●37			
	茶臼古墳				発掘調査	●12									
	宮の本遺跡				発掘調査							●32			
	宮の本第11号古墳				発掘調査							●32			
	三重1号遺跡(第1次)				発掘調査							●28			
	殿平古墳				発掘調査								●40		
	長畑山古墳				発掘調査								●40		
20	岡東第1～7号古墳				発掘調査							●30			
	岡1号遺跡				発掘調査							●30			
	只野原1号遺跡				発掘調査						●23				
	番久遺跡				発掘調査						●24				
	原畠遺跡				発掘調査						●24				
	向泉川平1号遺跡				発掘調査						●25				
	向泉川平2号遺跡				発掘調査						●25				
	川平第1号古墳				発掘調査						●21				
	常定川平1号遺跡				発掘調査						●21				
	常定川平2号遺跡				発掘調査						●21				
	馬7段遺跡				発掘調査						●27				
	皇塙遺跡				発掘調査						●27				
	杉谷遺跡				発掘調査							●38			
	善正平1号遺跡				発掘調査								●42		
	善正平2号遺跡				発掘調査								●42		
	風呂谷遺跡				発掘調査								●31		
	風呂谷古墳				発掘調査								●31		
21	三重1号遺跡(第2次)				発掘調査						●28				
	岡2号遺跡				発掘調査						●30				
	只野原3号遺跡(第1次)				発掘調査						●23				
	石谷2号遺跡(第1次)				発掘調査						●26				
	石谷3号遺跡				発掘調査						●26				
	長畑山北第1～6号古墳				発掘調査							●41			
	畠尻遺跡				発掘調査							●35			
	海田原第24・25・26・27号古墳				発掘調査							●39			
	石谷2号遺跡(第2次)				発掘調査						●26				
	只野原2号遺跡				発掘調査						●23				
	只野原3号遺跡(第2次)				発掘調査						●23				
	半戸1号遺跡				発掘調査							●30			
23	大柳遺跡								発掘調査				●43		
24	三隅山遺跡								発掘調査				●36		
	岡東第1号横穴墓								発掘調査				●30		
26	原畠遺跡(第2次・災害復旧)								発掘調査				●44		

公益財団法人広島県教育事業団 埋蔵文化財調査室

〒733-0036 広島市西区観音新町四丁目8-49

☎ 082-295-5751 facsimile 082-291-3951

Home page <http://www.harc.or.jp>(遺跡探訪のへや)

発行:2015年(平成27)
3月20日

ニッポン・ひろしまのあゆみとはくつされた遺跡の時代

時代	旧石器	縄文	弥生	古墳	飛鳥	奈良	平安	鎌倉	南北朝	室町	安土桃山	江戸	明治	大正	昭和	平成		
年代	BC33000	BC12000	BC300	250	600	710	794	1192	1336	1392	1568	1603	1868	1912	1926	1989		
尾松線で発掘調査した遺跡	只野原3号遺跡(庄原市高野町)	段遺跡(三次市上四拾貫町)	風呂谷遺跡(庄原市口和町)	曾川1号遺跡E(尾道市御調町)	曾川1号遺跡A・G(尾道市御調町)	石谷2号遺跡(庄原市口和町)	曾川1号遺跡E(尾道市御調町)	馬ヶ段遺跡(庄原市水越町)	向江田中山遺跡(三次市向江田町)	若見迫遺跡(三次市三良坂町)	右谷遺跡(三次市吉舎町)	宮の本遺跡(三次市向江田町)	杉谷遺跡(世羅町東上原)	大柳遺跡(世羅町東上原)	頬藤城跡(三次市甲奴町)	牛の皮城跡(尾道市御調町)	三隅山遺跡(三次市三良坂町)	
ひろしまのできごと	下本谷遺跡(三次市)	観音堂遺跡(神石高原町)	中山遺跡(広島市)	中小田1号古墳(広島市)	三ツ城古墳(東広島市西条町)	梅木平古墳(三原市)	梅木平古墳(三原市)	安芸・備後の国分寺建立	平清盛	厳島神社を修築	草戸千軒町遺跡(福山市)	草戸千軒町遺跡(福山市)	厳島合戦	毛利氏	阿部氏	廣島城主となる	広島県・福山県・中津県設置	芸予地震
ニッポンのできごと	列島に人類の足跡	水田稻作がはじまる	土器・弓矢の使用	前方後円墳の誕生	聖徳太子摄政となる	大化の革新	壬申の乱	平城京(奈良)遷都	鎌倉幕府成立	南北朝の対立	南北朝統一	織田信長の入京	徳川幕府成立	戊辰戦争・明治改元	日清・日露戦争	大正改元	東日本大震災	



3万年をさかのぼる旧石器時代集落
只野原3号遺跡(庄原市高野町)



県内最大の前方後円墳・史跡
三ツ城古墳(東広島市西条町)



古代建築の面影を伝える世界遺産
厳島神社(廿日市市宮島町)



復元された中世の瀬戸内の港町
草戸千軒(福山市草戸町)



復元された近世城郭・史跡
広島城(広島市中区)



近世の建物が残る近世城郭・史跡
福山城(福山市丸之内)



原爆の惨禍を伝える世界遺産
原爆ドーム(広島市中区)